

目白大学（2020年度申請）

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	目白大学
設置者名	学校法人目白学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
心理学部	心理カウンセリング学科	夜・通信		0	16	30	13	
人間学部	心理カウンセリング学科	夜・通信		0	36	50	13	
	人間福祉学科	夜・通信			106	120	13	
	子ども学科	夜・通信			46	60	13	
	児童教育学科	夜・通信			56	70	13	
社会学部	社会情報学科	夜・通信	14	2	46	62	13	
	メディア表現学科	夜・通信			60	76	13	
	地域社会学科	夜・通信			10	26	13	
メディア学部	メディア学科	夜・通信		0	74	88	13	
経営学部	経営学科	夜・通信		0	16	30	13	
外国語学部	英米語学科	夜・通信		8	15	37	13	
	中国語学科	夜・通信			0	22	13	
	韓国語学科	夜・通信			4	26	13	
	日本語・日本語教育学科	夜・通信			10	32	13	
保健医療学部	理学療法学科	夜・通信			64	107	13	

目白大学（2020年度申請）

	作業療法学科	夜・通信	16	27	81	124	13	
	言語聴覚学科	夜・通信			67	110	13	
看護学部	看護学科	夜・通信		0	83	99	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページで公表 <a href="https://www2.mejiro.ac.jp/syllabus2019/">https://www2.mejiro.ac.jp/syllabus2019/</a>
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

目白大学（2020年度申請）

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	目白大学
設置者名	学校法人目白学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/about/organization/">https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/about/organization/</a>
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	国立大学名誉教授	2018.4.1～ 2021.3.31	初等中等教育に造詣が深く、その知見を生かした本学園の運営に対するチェック及び指導。
非常勤	元株式会社 非常勤監査役	2018.4.1～ 2021.3.31	民間企業での経験を生かした本学園の運営に対するチェック及び指導。
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	目白大学
設置者名	学校法人目白学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業計画(シラバス)作成過程 ⇒教務委員会で周知(12月)⇒各教員に作成依頼(1月本学教務ポータルサイトより入力) ⇒入力締切後、各学科長がシラバス内容を確認 ⇒修正指示&amp;修正(～3月末)⇒本学教務ポータルサイト掲載⇒新年度4月本学ホームページにて公開</li> <li>・シラバス入力項目 担当者名、授業のねらい、学生の学習目標、授業内容(スケジュール) 授業の事前準備と事後学習、評価の方法と観点、試験・レポートの返却方法、学習成果、必須資料(教科書等)、参考資料。アクティブラーニングの導入、実務教員科目該当(該当⇒実務経験と授業内容の関係)、ICTの導入、オフィスアワー</li> </ul>	
授業計画書の公表方法	<p>ホームページで公表 <a href="https://www2.mejiro.ac.jp/syllabus2019/">https://www2.mejiro.ac.jp/syllabus2019/</a></p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>本学は試験及び学習成績の評価に関する規程を定め、運用している。 なお、各科目の成績評価は、シラバスに示された評価方法に従いS・A・B・C・D・Nの6段階で評価する。S～C・Nが合格(単位認定)、Dが不合格(単位不認定)となる。 評価基準は以下の通り。</p> <p>S=特に秀でた成績(総履修者数の概ね10%を限度とする) A=100点から80点まで B=79点から70点まで C=69点から60点まで D=59点以下 N=他大学で修得し本学が認定した科目、検定試験に合格し認定された科目等</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)          本学は、成績評定平均値 (GPA) に関する規程を定め、運用している。          算出方法は下記のとおり。          成績 S : GP = 4、A : GP = 3、B : GP = 2、C : GP = 1、D : GP = 0</p> <p>GPA計算式          (当該学期に成績評価を受けた授業科目のGP×当該科目の単位数) の合計  <hr style="width: 80%; margin-left: 0;"/> <span style="float: right;">= 学期のGPA</span>          当該学期に成績評価を受けた授業科目の総単位数</p> <p>※「N」評価は算出時に含まない。</p> <p>別添資料          GPA分布状況 (2019 年度 1 年生 学科別)</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>GPAに関する規程及び算出方法は、学生へ配布する「学生便覧」に掲載し公表している。また、学生個人のGPAの学生への通知は、自身がWeb成績情報に記載されているので、常に確認できます。また、成績通知表に記載し、年度末に学生自宅へ郵送している。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要）

本学は、教育基本法等の教育法規、並びに建学の精神「主・師・親」に則り、国家・社会への献身的態度、真理探究への熱意、及び人間尊重の精神を、そして幅広い教養と確かな専門性を、学生に身につけさせる教育（本学が社会的使命として掲げている「育てて送り出す」教育）を実践し、このことを通して、将来、社会において創造的で自立的な市民となって、社会の発展に貢献していくことのできる人材を育成することを目的とする。

この目的を達成するために開設される、全学の共通科目及び各学部・学科の専門科目を履修し、卒業に必要な単位数を取得することによって、全学共通の「学士力」、及びそれぞれの専門分野に関わる「専門基礎力」を、卒業認定に値する程度以上に獲得できたと認められる学生に対し、学士の学位を授与し卒業を認定することとする。

また、本学は、本学学則、卒業認定・学位授与等の方針に関する規程を定め、学則及び規程に則り、在学年数、単位数等の卒業要件を満たし、所属学部・学科のディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）に適合した学士課程を修了した学生に、学士の学位を授ける。

なお、卒業要件については、「学生便覧」に各学科の科目の内訳（共通科目、専門科目及び必修単位数、選択単位数、卒業要件単位数）を一覧表で示している。また、4年以上在学し卒業要件を満たした場合、教授会の議を経て卒業を認定し「学士」の学位を授与すると明記している。

卒業査定手順は下記のとおりである。

【3月卒業査定手順】

- ①2月上旬 教務課より卒業年次生履修状況一覧を各学科に配布する。
- ②2月下旬 教務課より各学科に卒業判定学科査定資料（成績資料、卒業要件未充足者資料）を配布する。
- ③3月上旬 各学科より教務課に卒業判定査定結果を報告する。
- ④教務課は卒業判定資料を作成する。
- ⑤3月上旬 卒業判定教授会開催し審議のうえ、卒業者及び卒業延期者を確定する。
- ⑥学生は卒業の可否を本学学生専用ポータルサイト（学生ネットサービス）にて確認する。卒業延期者には郵送にて通知する。

【9月卒業査定手順】

- ①8月中旬 教務課より卒業年次生履修状況一覧を各学科に配布する。
- ②9月上旬 教務課より卒業判定査定資料（成績資料）を各学科に配布する。
- ③9月上旬 各学科より教務課に卒業判定結果を報告する。
- ④教務課は卒業判定資料を作成する。
- ⑤9月中旬 卒業判定授会開催し審議のうえ、卒業者及び卒業延期者を確定する。
- ⑥卒業可の場合、教務課より郵送にて学生に通知する。

卒業の認定に関する  
方針の公表方法

学生に配布する「学生便覧」に大学学則、学位授与等の方針に関する規程を掲載し、公表している。また学位授与方針については、ホームページ上でも公表している。  
<https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/dp/>

## 目白大学（2020年度申請）

### 様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	目白大学
設置者名	学校法人目白学園

#### 1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/disclosure/">https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/disclosure/</a>
収支計算書又は損益計算書	ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/disclosure/">https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/disclosure/</a>
財産目録	ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/disclosure/">https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/disclosure/</a>
事業報告書	ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/disclosure/">https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/disclosure/</a>
監事による監査報告（書）	ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/disclosure/">https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/disclosure/</a>

#### 2. 事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：2020年度事業計画書 対象年度：令和2年度（2020年度））
公表方法：ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/pdf/2020_business_plan.pdf">https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/pdf/2020_business_plan.pdf</a>
中長期計画（名称：学校法人目白学園第4次中期目標・中期計画 対象年度：令和元年度（2019年度）～令和4年度（2023年度））
公表方法：ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/pdf/mt_plan_2019-2023.pdf">https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/pdf/mt_plan_2019-2023.pdf</a>

#### 3. 教育活動に係る情報

##### (1) 自己点検・評価の結果

公表方法：ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/evaluation/self_evaluation/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/evaluation/self_evaluation/</a>
---

##### (2) 認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/evaluation/jiheer/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/evaluation/jiheer/</a>
---

（3）学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

<p>学部等名 心理学部</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：ホームページで公表  <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/course/psychology/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/course/psychology/</a>）</p>
<p>（概要）                  本学心理学部は、心の成り立ちや働き等に関する心理学の諸分野を幅広く学び、科学的・実証的な方法論とともに、人間の心理と行動に関する多角的な視野からの知識を修得することにより、カウンセリングマインドを持ち、多様性に開かれた共生社会にふみ出すことのできる人材を養成することを目的としている。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページで公表  <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/dp/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/dp/</a>）</p>
<p>（概要）                  本学は、教育基本法等の教育法規、並びに建学の精神「主・師・親」に則り、国家・社会への献身的態度、真理探究の熱意、及び人間尊重の精神を、そして幅広い教養と確かな専門性を、学生に身につけさせることを通して、将来、社会の発展に貢献していくことのできる人材の育成を目的として、学生を「育てて送り出す」教育を実践する。                  全学の共通科目及び各学部・学科の専門科目を履修し、卒業に必要な単位数を取得することによって、全学共通の「学士力」、及びそれぞれの専門分野に関わる「専門基礎力」を、卒業認定に値する程度以上に獲得できたと認められ、以下の所属学科のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に適合した学士課程の学生に、学士の学位を授ける。</p> <p>&lt;心理カウンセリング学科&gt;                  ①現代社会の課題や問題に対し、多角的視野に基づく心理学の知識や技術を活かして主体的に取り組み、解決に向けて思考し、判断することができる。                  ②共感力を身につけ、カウンセリングマインドや心理学的態度、技術を習得し、多様な人々とコミュニケーションをとることができる。                  ③個人・集団・文化の独自性を理解した上で、心理学的課題に対処できる。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページで公表  <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/cp/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/cp/</a>）</p>
<p>（概要）                  本学は、各学部及び各学科が提供する専門教育を通して、卒業時までには、各学科が指定する専門基礎力を学生が確実に獲得できるようにするために、科目履修の順次性を尊重した体系的な教育課程を編成することとし、各学科でのカリキュラム・ポリシーを以下に定める。</p> <p>&lt;心理カウンセリング学科&gt;                  ①主に1、2年次に履修する心理学体系に基づく心理学基礎科目と、社会と心理学との関係を理解するための心理学導入科目をもとに、心理学的な手法と科学的な考え方を養う。                  ②基礎的な思考力を身に着けた上で、2～4年次では、現代社会の問題を反映した多様なフィールドで心理学を学習するよう発展科目、専修科目を設定し、自分の進路や関心に合わせた履修ができるように運用する。                  ③4年間を通し、様々な科目で課題解決型学習を踏まえた授業を行う。特に心理学演習実習科目、心理学的支援実習科目、セミナー・卒業研究等を通して、自ら判断し、主体的に行動する力を養う。</p>



目白大学（2020年度申請）

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/ap/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/ap/</a> ）
（概要） 本学部・学科に入学してくる学生が、本学部の人材育成目的の達成に向けて開設される専門教育科目群を履修することによって、卒業時までには本学部・学科の専門分野に関わる知識や技能（専門基礎力）を獲得できるようにするために、以下のような資質・能力を有する人を受入れることとする。  <心理カウンセリング学科> ①心理学に対する関心をもち、社会の中での心理学の役割を学びたい意欲のある人 ②複雑で多様な社会を理解し、社会に貢献したいと考えている人 ③人間の行動や心理について理解するために必要な基礎学力を備え、ものごとを柔軟に考えることができる人
学部等名 人間学部
教育研究上の目的（公表方法：ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/course/human/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/course/human/</a> ）
（概要） 本学人間学部は、人間尊重の精神を育てつつ、主として人間に関する知識と人間を支援するための技能を併せ持つ人材を育成することを目的としている。さらに、「生涯にわたる成長と発達」「生活と生き方」は人間学部の中心的テーマであり、こうした学びの中で自己を理解し、成長するための術と姿勢を身につけることこそが、人間学部の教育目標である。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/dp/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/dp/</a> ）
（概要） 本学は、教育基本法等の教育法規、並びに建学の精神「主・師・親」に則り、国家・社会への献身的態度、真理探究の熱意、及び人間尊重の精神を、そして幅広い教養と確かな専門性を、学生に身につけさせることを通して、将来、社会の発展に貢献していくことのできる人材の育成を目的として、学生を「育てて送り出す」教育を実践する。 全学の共通科目及び各学部・学科の専門科目を履修し、卒業に必要な単位数を取得することによって、全学共通の「学士力」、及びそれぞれの専門分野に関わる「専門基礎力」を、卒業認定に値する程度以上に獲得できたと認められ、以下の所属学科のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に適合した学士課程の学生に、学士の学位を授ける。  <心理カウンセリング学科> ①人間の行動や心理過程について、基礎的な知識を身につけた上で、適切に評価することができる。 ②心理的課題に対して、カウンセリング・マインドで対応することができる。 ③心理学的観点から人間に深い関心を持ち続け、責任ある社会的行動をとることができる。  <人間福祉学科> ①人間の福祉について、基礎的な知識を身につけた上で、適切に評価することができる。 ②福祉に関わる課題に対して人間の尊厳と人権を大切にしつつ対応することができる。 ③社会福祉的観点から人間に深い関心を持ち続け、責任ある社会的行動をとることができる。  <子ども学科> ①子ども学の観点から人間に深い関心を持ち続け、保育に対する責任感を身につけ、一人

ひとりの子どもを大切にできる。  
②保育内容や指導法の研究をすることができ、子どもが自己発揮できるような遊びを展開できる。  
③子どもを取り巻く家庭や地域社会の課題を理解でき、相手の立場に立った適切な支援を考えることができる。  
④子どもの心や身体の状態を的確に理解することのできる専門的知識を持ち、個々の子どもに対して適切な援助ができる。

<児童教育学科>

①児童教育学の観点から人間に深い関心を持ち続け、児童教育に対する責任感を身につけ、一人ひとりの児童を大切にできる  
②教育学的思考法や児童教育学に関わる基礎的な知識・技能を身につけるとともに、教育の諸問題について考えることができる  
③教職課程履修者については、教科など各領域に関わる内容に関して基礎的な知識・技能を身に付けている。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページで公表  
<https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/cp/>）

（概要）

本学は、各学部及び各学科が提供する専門教育を通して、卒業時までには、各学科が指定する専門基礎力を学生が確実に獲得できるようにするために、科目履修の順次性を尊重した体系的な教育課程を編成することとし、各学科でのカリキュラム・ポリシーを以下に定める。

<心理カウンセリング学科>

①広く人間を理解し社会のさまざまな分野における対人関係の合理的かつ現実的な問題解決ができ、他者への援助能力を育成するカリキュラム編成。  
②基幹科目で概論科目を学び、順次基礎心理学から応用心理学およびカウンセリング関連科目を配置し、心理学の基礎知識と応用および技能が結びつくよう科目の連携。  
③1年次より基礎心理学科目および演習科目を学び、自ら考え学習する能力を養い、2年次以降将来の進路に合わせてコースを選択できるよう運用。

<人間福祉学科>

①本学部の共通課題としての「人間とは何か」を、初年次より「人間学の基礎」を学ぶことにより、問題意識を持つことができるようにする。  
②社会福祉学の基礎的科目や隣接領域の基礎的科目を本学科「基幹科目」として開設する。この科目は、福祉において支援する人についての理解を深めるために、人をこころ(心理)、からだ(身体)、社会関係という3つの側面から総合的に理解していくために必要となる基礎的な知識を学ぶ。  
③1年次・2年時の学生を対象に、本学科の専門分野に関わる入門的知識や基礎的な能力を養うことを目的とした「導入科目」は、人を上記3つの側面を抽象的に学ぶのではなく、子ども家庭、高齢者、障害者、低所得など具体的な福祉課題あるいは分野に即して学びを深められるようにする。  
④「専門科目」では、人が社会のなかで関わることになる個人、集団、地域、組織についての知識を修得し、また福祉の課題が、これらとの関係においてどのように現れ、また解決されていくのかを学べるようにする。また社会保障と社会福祉の制度及び権利についての知識をえることにより、不利な状況におかれた人びとへの理解と支援の方法、当事者のエンパワーメントに関する理解を深められるようにする。  
⑤「卒業研究」ではこれらの専門的な知識と技術を学んだことの集大成として、研究論文または実践レポートを提出できるようにする。  
⑥「社会福祉士」「精神保健福祉士」「介護福祉士」の3国家資格に共通するソーシャル

ワーク及び対人援助などの教育内容を示す。また、社会福祉領域および隣接領域におけるリーダーとなりうる創造的教養人を養成するべく、社会福祉学のみならず社会全体に関する幅広い知識を獲得する。

⑦上記とともに正義に対する感覚や感性を磨き、これらをもって新しい福祉社会を開拓していくことのできる応用的・実戦的能力の涵養に資するために、「多文化共生」「グローバル社会」「福祉社会学」「公共政策」等の系列と「フィールドワーク演習」「セミナー」を用意し、緩やかな順次性のあるカリキュラムを設定する。

#### <子ども学科>

①「人間」「福祉」「子ども」に関する学修を学部コア・カリキュラムとして「人間学の基礎」を設定し、「人間学」に関わる根本的な問いに関して、初年次の段階から強い課題意識を持たせるようにする。

②子ども学科の基幹科目として「子どもと人権」「人間発達と福祉」を設定し、人間学に関わる一般的ないし基本的な知識を獲得できるようにする。

③初年次の学生を対象に、子ども学に関わる入門的な知識や基礎的な能力を養うことを目的とした導入科目として、「子どもと遊び」、「保育原理Ⅰ」、「保育者論」、「子ども家庭福祉」、「発達心理学」を開設し、必修科目とする。

④子ども学科の「子どもの文化・遊びに関する科目」、「保育教育に関する科目」、「発達福祉支援等に関する科目」毎に、科目履修の順次性に配慮しつつ、必要不可欠な講義・演習科目を設定し、確かな専門性を獲得させるようにする。

⑤それまでに学修した内容を総合して学修を深めていく子ども学セミナーに関する科目を開設し、4年間の学修の集大成として「卒業研究」という科目を設ける

⑥保育士資格、幼稚園教諭免許の習得に必要な専門知識及び技術を獲得し、それらの知識・技術を実習を通して往還的に学修を深め、専門職者としての感性を磨き、応用的・実践的能力を涵養するために必要な教育課程を編成する。

#### <児童教育学科>

①1年次・2年次の学生を対象に、本学科の専門分野に関わる入門的な知識や基礎的な能力を養うことを目的とした導入科目に、教育学の基礎的科目や専門系列につながる基礎的科目を「基幹科目」として設置する。

②小学校教員を含む児童教育学分野の専門職者として、児童教育学の専門的知識及び技術を獲得し、それぞれの現場で適切に活用することのできる応用的実践的能力の涵養に資するために、5系列からなる緩やかで順次性のあるカリキュラムを設定する。

③「発達と支援」「多文化共生」「感性と表現」「教育現場と実践」「学校教育」の5系列、「発展科目」、「セミナー」からなる専門科目を設置し、それぞれに適合した専門的実践的能力を培うことを目指す。

④小学校教諭一種免許状取得を目指す学生には、小学校における反省的实践家として必要な専門的力量的基礎を培わせる教育を推進する。

⑤必修科目として「卒業研究」を設置し、4年間の学修の集大成とする。

⑥小学校教諭一種免許状及び各種資格に係わる科目の設置と編成にあたっては、本学科の独自性を生かし以下の2点に留意する。

(1) 小学校教諭一種免許状に係わる科目においては、教員としての感性を磨き、学校現場で適切に活用できる応用的で実践的な能力を身に付けられるように配慮する。

(2) レクリエーション・インストラクター、児童指導員任用資格、社会福祉主事任用資格等の取得に係わる科目においては、専門性を拡張・深化するものとなるように配慮する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページで公表

<https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/ap/>)

## 目白大学（2020年度申請）

<p>(概要)</p> <p>本学部に入學してくる學生が、本学部の人材育成目的の達成に向けて開設される専門教育科目群を履修することによって、卒業時までに本学部の専門分野に関わる知識や技能(専門基礎力)を獲得できるようにするために、以下のような資質・能力を有する人を受入れることとする。</p> <p>&lt;心理カウンセリング学科&gt;</p> <p>①人と社会に関心を持ち、人間行動について学ぶ意欲のある人 ②人間や社会に対する好奇心・探究心を持ち、責任ある行動をとれる人 ③人間の行動や心理について理解するために必要な基礎学力を備え、ものごとを柔軟に考えることができる人</p> <p>&lt;人間福祉学科&gt;</p> <p>①本学科での学修に必要となる確かな基礎学力と学びに対する積極的な姿勢を保持している人 ②本学科で専門的な知識や技能を修得し、将来それらを活用して人にかかわることを通して社会の発展に貢献していこうとする強い意欲と明確な目的意識を持つ人 ③多様な背景をもつ他者と協働しながら直面する諸課題に主体的に取り組んで行こうとする前向きな姿勢を持つ人</p> <p>&lt;子ども学科&gt;</p> <p>①大学での学修に必要となる確かな基礎学力を有し、なおかつ子どもの発達及び環境に関心を持ち、福祉・教育について学ぶ意欲がある人 ②子ども学に関する専門基礎力を習得し、将来、それらを活用して自ら社会の発展に貢献していこうとする強い意欲と明確な目的意識を持つ人 ③多様な背景を持つ他者と協働しながら、直面する諸課題の解決に主体的に取り組んでいこうとする、前向きな姿勢を持つ人</p> <p>&lt;児童教育学科&gt;</p> <p>①本学科での学修に必要となる確かな基礎学力と学びに対する積極的な姿勢を保持している人 ②本学科で専門的な知識や技能を修得し、将来それらを活用して人にかかわることを通して社会の発展に貢献していこうとする強い意欲と明確な目的意識を持つ人 ③多様な背景をもつ他者と協働しながら直面する諸課題に主体的に取り組んで行こうとする前向きな姿勢を持つ人</p>
---

学部等名 社会学部
教育研究上の目的（公表方法：ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/course/social/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/course/social/</a> ）
(概要) 本学社会学部は、家族などの小さな集団から民族や国際社会といったマクロ集団まで、人の集団を研究対象とする「人間中心」の学部であり、社会の流れとは人々の動向であり、情報によって制御される人々の行動意識・集団心理の推移であると考え、社会的存在である「人間」と「社会構造」に視点をあてて、変化の速い現代社会を読み解き、近未来を切り拓く人材を育む教育を目指す。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/dp/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/dp/</a> ）

（概要）

本学は、教育基本法等の教育法規、並びに建学の精神「主・師・親」に則り、国家・社会への献身的態度、真理探究の熱意、及び人間尊重の精神を、そして幅広い教養と確かな専門性を、学生に身につけさせることを通して、将来、社会の発展に貢献していくことのできる人材の育成を目的として、学生を「育てて送り出す」教育を実践する。

全学の共通科目及び各学部・学科の専門科目を履修し、卒業に必要な単位数を取得することによって、全学共通の「学士力」、及びそれぞれの専門分野に関わる「専門基礎力」を、卒業認定に値する程度以上に獲得できたと認められ、以下の所属学科のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に適合した学士課程の学生に、学士の学位を授ける。

<社会情報学科>

本学科は、目白大学の卒業認定・学位授与方針に基づき、社会学・生活関連分野の学際的な学修を通じて、複雑化する現代社会の諸課題に向けて多角的にアプローチし、「知性」にもとづく的確な社会認識力、実証的な分析力、複眼的な思考力とともに、「感性」を活かした洞察力を身につけ、創造的な解決策や豊かな価値をデザインできる人材を育成することを目的とする。

本学科は、この目的を達成するために、本学部及び本学科が開設する共通・専門科目を履修し、卒業に必要な単位を取得することによって、本学部および本学科に固有の専門諸分野に関わる知識や技能（専門基礎力）を、卒業認定に値する程度以上に獲得できたと認められる学生に対し、学士（社会情報学）の学位を授与し卒業を認定することとする。

<メディア表現学科>

①社会に関する基礎的な知識を身につけ、メディアの観点から社会の諸問題について適切に評価することができる。

②社会のさまざまな問題解決にあたって、高度なコミュニケーション技術と効果的表現で対応することができる。

③メディアの特性や役割、影響に関心を持ち続け、社会に貢献することができる。

<地域社会学科>

本学科の所属する社会学部では、社会において創造的で自立的な市民となり、社会の変革と発展に貢献していくことのできる人材を育成することを目的としている。本学科では、この目的を達成するため、学科の専門科目を通じて社会に関する基礎的な知識を身につけ、地域社会や現代社会のあり方について適切に評価することができ、問題解決にあたって対象を理解し自己を表現することのできるコミュニケーションスキルを身につけたと認められる学生に対し卒業を認定することとする。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページで公表  
<https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/cp/>）

（概要）

本学は、各学部及び各学科が提供する専門教育を通して、卒業時まで、各学科が指定する専門基礎力を学生が確実に獲得できるようにするために、科目履修の順次性を尊重した体系的な教育課程を編成することとし、各学科でのカリキュラム・ポリシーを以下に定める。

<社会情報学科>

①初年次の学生を対象とした「基幹科目」を設定し、本学科の専門諸分野に関わる入門的知識を獲得させるようにする。

②社会を適切に認識・分析・設計していくために、本学科において習得すべき手法・技能を「コア方法論」として設定し、社会調査法やデザインの手法などを獲得させる基盤とする。

③本学科の基礎知識・技能をさらに深めるための科目群として「社会心理・コミュニケー

ション系列」「生活創造系列」「社会デザイン系列」「マーケティング・ブランド系列」の4系列を開設する。運用にあたっては、各系列を相互に関連させることで、諸科学を補完的・有機的に組み合わせさせた学修を促す。

④現代的な課題に対し、各ユニットの観点から認識・設計をめざす科目群と、複数系列にまたがる多角的・総合的なアプローチをとる科目群を「発展科目」として開設し、社会的課題への応用・実践的な取り組みについて習得する機会とする。

⑤学修の集大成として「セミナー・卒業研究」を必修科目として設定する。

#### <メディア表現学科>

①メディアを有効に活用するための基礎知識と基本技能を習得し、効果的なコミュニケーション能力と幅広いクリエイティブな能力を育成できるカリキュラムを編成。

②メディア論などの基幹科目を置き、学科の目的を的確に伝達するとともに、表現に関する講義科目とそれに関する演習科目を機能的に結び、知識と技能等の連携を図れる領域横断的な科目配置。

③専門教育科目に複数のフィールドを設定し、ゼミや将来の進路と連動させた学習を促す。

#### <地域社会学科>

①本学科の専門教育カリキュラムの編成方針は、フィールドワークを通して現場から学び、課題を発見し解決していくことのできる人材を育てることを目的としている。また、具体的な学びの領域は「地域」「国際」「観光」といった分野を想定し、それぞれの分野に関する専門科目を配置している。

②専門科目の構成は、フィールドワークの方法を学ぶ「基幹科目」から、地域社会を理解するための基礎理論を学ぶ「形成科目」を経て、学科の想定した各領域の諸問題に学際的視点からアプローチする「展開科目」へとステップアップできるように専門教育科目を配置している。また、各学年に小人数の演習科目（ゼミ）を設定し、より充実した学びの場を提供している。そして、これらの科目履修の順次性を尊重した適切な履修指導のもとで、学科のめざす学びを獲得することとする。

③専門教育カリキュラムの編成は以下の通りである。

(1) 1年次では、基礎教養を身につけるとともに、フィールドワークの方法や技術を学ぶ「基幹科目」を必修科目として配置する。

(2) 2年次では、地域社会を理解するうえで必要な学問領域に関する基礎的な理論を「形成科目」を中心に学ぶとともに、少人数による演習を必修とする。

(3) 3・4年次では、「展開科目」として設定している各領域の専門科目を自由に選択しつつ、各教員の担当する演習の場で課題解決を進め、4年次必修の卒業研究の作成に繋げる。

④本学科が主体となっている教職、学芸員等の資格関連科目は、学科専門科目の編成に支障のない範囲で設定している。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページで公表

<https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/ap/>)

#### （概要）

本学部に入学者となる学生が、本学部の人材育成目的の達成に向けて開設される専門教育科目群を履修することによって、卒業時までには本学科の専門分野に関わる知識や技能（専門基礎力）を獲得できるようにするために、以下のような資質・能力を有する人を受け入れることとする。

#### <社会情報学科>

①社会を理解するための基本的な知識を身に付けている人

②さまざまな社会的課題に関心を持ち、生活者の視点で課題を認識し、適切に解決する力を身に付けたいと思っている人

③社会及び生活の質的向上に向けて、豊かな価値を創造できる力を身に付けたいと思っている人

④広い視野を持ち、的確な判断力と柔軟な思考力、実践的な社会デザイン力を身に付け、

目白大学 (2020 年度申請)

社会に貢献したいと思っている人
<メディア表現学科>
①新しいメディアに関心を持ち、優れたプレゼンテーション能力を身につけたいと思っている人
②バランスのとれたメディア表現力やコミュニケーション力を身につけ、社会に貢献したいと思っている人
③メディア表現の基礎となる「読む・聞く・書く・話す」などの知識や能力を身につけている人
<地域社会学科>
①人々の営みや日々の出来事に関心を持ち、問題発見とその解決方法を学ぶ意欲のある人
②現場での体験を通して社会に積極的に関わり、社会に奉仕・貢献したいと思っている人
③地域社会や現代社会を理解するために必要な基礎知識を身につけている人

学部等名 メディア学部
教育研究上の目的 (公表方法: ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/course/f_media/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/course/f_media/</a> )
(概要) 本学メディア学部は、情報化が進む現代社会において、新聞、テレビ、雑誌、インターネット、スマートフォンなど、さまざまな情報メディアが私たちの生活に密接に係っている現代において、効果的なコミュニケーション手法やコンテンツ制作技術を学び、メディアを駆使した表現を追求するとともに、社会の中でのメディアの役割、心理的影響などを探究する。
卒業の認定に関する方針 (公表方法: ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/dp/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/dp/</a> )
(概要) 本学は、教育基本法等の教育法規、並びに建学の精神「主・師・親」に則り、国家・社会への献身的態度、真理探究の熱意、及び人間尊重の精神を、そして幅広い教養と確かな専門性を、学生に身につけさせることを通して、将来、社会の発展に貢献していくことのできる人材の育成を目的として、学生を「育てて送り出す」教育を実践する。 全学の共通科目及び各学部・学科の専門科目を履修し、卒業に必要な単位数を取得することによって、全学共通の「学士力」、及びそれぞれの専門分野に関わる「専門基礎力」を、卒業認定に値する程度以上に獲得できたと認められ、以下の所属学科のディプロマ・ポリシー (学位授与の方針) に適合した学士課程の学生に、学士の学位を授ける。
<メディア学科>
①メディアを批判的・主体的に読み解く能力を身につけた上で、社会の諸問題について適切に評価し、解決に向けて努力することができる。
②メディアの機能や影響を理解した上で、適切な調査・表現・コミュニケーションを社会との関わりにおいて実践することができる。
③メディアの役割に関心を持ち続け、社会に貢献することができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針 (公表方法: ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/cp/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/cp/</a> )

目白大学（2020年度申請）

<p>(概要)</p> <p>本学は、各学部及び各学科が提供する専門教育を通して、卒業時まで、各学科が指定する専門基礎力を学生が確実に獲得できるようにするために、科目履修の順次性を尊重した体系的な教育課程を編成することとし、各学科でのカリキュラム・ポリシーを以下に定める。</p> <p>&lt;メディア学科&gt;</p> <p>①メディア学の視点で社会や人間とメディアの関わりを理解すると同時に、メディアの未来を創造することのできる思考力・実践力を涵養するカリキュラム編成とする。</p> <p>②メディアの役割や機能を理解するための講義科目と、メディアを効果的に活用しながら専門性を高める演習科目を、順次的かつ体系的に学修させるカリキュラム編成とする。</p> <p>③大学外の各種団体・組織等とも連携しながら、将来の進路を見据えた実践的な学びを促すカリキュラム編成とする。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/ap/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/ap/</a>)</p>
<p>(概要)</p> <p>本学部・学科に入学してくる学生が、本学部の人材育成目的の達成に向けて開設される専門教育科目群を履修することによって、卒業時まで本学部・学科の専門分野に関わる知識や技能（専門基礎力）を獲得できるようにするために、以下のような資質・能力を有する人を受入れることとする。</p> <p>&lt;メディア学科&gt;</p> <p>①メディアに対する関心を持ち、社会の中でのメディアの役割を学びたいと思っている人</p> <p>②メディアを活用した高度で実践的な表現力・コミュニケーション力を身につけ、社会に貢献したいと思っている人</p> <p>③「読む・聞く・書く・話す」をはじめとする、メディア活用に必要な基礎的能力を身につけている人</p>
<p>学部等名 経営学部</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/course/business/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/course/business/</a>)</p>
<p>(概要)</p> <p>本学経営学部では、マネジメントの仕組みや知識が複雑かつ専門化している現在の経済社会で、ITの発展に伴う基礎的な情報処理能力、グローバル化に対応するための会計の実践的スキルなど、21世紀の経済社会を推進していく原動力となるためにジェネラリストとしての幅広い知識を持った人材の育成を目指す。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/dp/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/dp/</a>)</p>
<p>(概要)</p> <p>本学は、教育基本法等の教育法規、並びに建学の精神「主・師・親」に則り、国家・社会への献身的態度、真理探究の熱意、及び人間尊重の精神を、そして幅広い教養と確かな専門性を、学生に身につけさせることを通して、将来、社会の発展に貢献していくことのできる人材の育成を目的として、学生を「育てて送り出す」教育を実践する。</p> <p>全学の共通科目及び各学部・学科の専門科目を履修し、卒業に必要な単位数を取得することによって、全学共通の「学士力」、及びそれぞれの専門分野に関わる「専門基礎力」を、卒業認定に値する程度以上に獲得できたと認められ、以下の所属学科のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に適合した学士課程の学生に、学士の学位を授ける。</p>



<p>&lt;経営学科&gt;</p> <p>①社会や人間の本質について幅広い見識を持ち、社会のあるべき姿を構想する。</p> <p>②社会のあるべき姿の実現に向け、経営学の知見を活かして事業体の事業環境や経営状況を分析し、経営課題を発見する。</p> <p>③事業体の経営課題に対して適切な対応策を立案する。</p> <p>④課題の対応策の実践に向けて、事業体を組織化し、運営する。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページで公表  <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/cp/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/cp/</a>）</p>
<p>（概要）</p> <p>本学は、各学部及び各学科が提供する専門教育を通して、卒業時まで、各学科が指定する専門基礎力を学生が確実に獲得できるようにするために、科目履修の順次性を尊重した体系的な教育課程を編成することとし、各学科でのカリキュラム・ポリシーを以下に定める。</p> <p>&lt;経営学科&gt;</p> <p>①経営学の基幹3分野である「経営学」「マーケティング」「会計学」において「入門科目」「専門基礎科目」「展開科目」を設定し、初年次の段階から順次性を持った知識を養成する。基幹関連分野として、「経営総合科目」「マネジメント演習」「セミナー・卒業研究」を設定し、講義および演習の組合せにより、確かな専門性と幅広い知識を習得する。</p> <p>②1年次春学期から、経営学の基礎的な内容を修得するために基幹3分野に必修科目を設け「入門科目」として配置する。</p> <p>③1年次秋学期から、経営学に関する専門知識を系統的かつ効果的に修得するために基幹3分野に「専門基礎科目」（一部必修科目）を配置し、進路を見据えたフレキシブルな科目履修の機会を提供する。</p> <p>④経営学の基幹3分野に関する理解を深化させることができる知識を身につけるために「展開科目」（各分野選択必修）を配置する。</p> <p>⑤社会・経済を広い視野でかつ総合的に理解するために、経済・法律・情報技術・キャリア形成などの科目を「経営総合科目」として配置する。</p> <p>⑥社会・経済からの要請や課題に対処するために「マネジメント演習」を設ける。1年次から時代の要請にあった、経営学の新しい考え方を身につける科目として「現代マネジメント」を、3年次から各分野において専門性の高い科目を「経営学特講義」として配置する。</p> <p>⑦課題解決力・リーダーシップ力・チームワーク力・創造的思考力を養うために、少人数制の「セミナー」を設ける。2年次から選択制の経営学基礎演習を、3・4年次は必修の経営学専門セミナーおよび経営学特別セミナーを配置することで、教員・学生双方向のコミュニケーションを実現し、関心・意欲および思考力・判断力を養うことを重視する。</p> <p>⑧4年間の学修の集大成として「卒業研究」という必修科目を設ける。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページで公表  <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/ap/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/ap/</a>）</p>
<p>（概要）</p> <p>本学部・学科に入学してくる学生が、全学の共通科目、および本学部・学科開設の専門科目群を履修することによって、卒業学士力および専門基礎力を獲得できるようにするため、以下のような資質・能力を有する人を受入れることとする。</p> <p>&lt;経営学科&gt;</p> <p>①高等学校での教育課程を幅広く習得し、高等学校卒業程度の知識・教養・技能を身につけている人</p> <p>②社会・経済が直面する課題や企業をはじめとする各種事業体の経営課題に高い興味・関心を持ち、自ら問題解決に取り組む意欲のある人</p> <p>③社会・経済で起こるさまざまな出来事に問題意識を持ち、物事を多面的かつ論理的に考え、伝えることができる人</p>

学部等名 外国語学部
教育研究上の目的（公表方法：ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/course/foreign/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/course/foreign/</a> ）
（概要） 地球規模でつながる人と情報のネットワークが形成され、さらに強化、拡大している現代において、海外との交流が活発化し、発生する諸問題に対処する人材を育てることは、大きな課題となっている。本学外国語学部では、従来の教養としての外国語力だけでなく、実際に通用する外国語能力の習得を第一に目指し、国際感覚を身につけるために、国際関係や危機管理なども学ぶ。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/dp/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/dp/</a> ）
（概要） 本学は、教育基本法等の教育法規、並びに建学の精神「主・師・親」に則り、国家・社会への献身的態度、真理探究の熱意、及び人間尊重の精神を、そして幅広い教養と確かな専門性を、学生に身につけさせることを通して、将来、社会の発展に貢献していくことのできる人材の育成を目的として、学生を「育てて送り出す」教育を実践する。 全学の共通科目及び各学部・学科の専門科目を履修し、卒業に必要な単位数を取得することによって、全学共通の「学士力」、及びそれぞれの専門分野に関わる「専門基礎力」を、卒業認定に値する程度以上に獲得できたと認められ、以下の所属学科のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に適合した学士課程の学生に、学士の学位を授ける。  <英米語学科> 本学科は、英語と日本語の、双方の、高度な公共的使用能力を涵養すること、そしてこれを基盤として、将来、国内外において創造的で自立的な市民となって、社会の発展に貢献していくことのできる人材を育成することを目的とする。 この目的を達成するために開設される、全学の共通科目及び本学部と本学科の専門科目を履修し、卒業に必要な単位数を取得することによって、全学共通の学士力、及び本学科が指定する専門基礎力を、卒業認定に値する程度以上に獲得できたと認められる学生に対し、学士の学位を授与し卒業を認定することとする。  <中国語学科> 本学科は、中国語と日本語の、双方の、高度な公共的使用能力を涵養すること、そしてこれを基盤として、将来、社会において創造的で自立的な市民となって、社会の発展に貢献していくことのできる人材を育成することを目的とする。 この目的を達成するために開設される、全学の共通科目及び本学部と本学科の専門科目を履修し、卒業に必要な単位数を取得することによって、全学共通の学士力、及び本学科が指定する専門基礎力を、卒業認定に値する程度以上に獲得できたと認められる学生に対し、学士の学位を授与し卒業を認定することとする。  <韓国語学科> ①韓国語と韓国文化について基礎的・応用的・実用的な知識を身につけ、国際的な観点に立って考えることができる。 ②韓国語で自らの考えを表現できるとともに、世界の人々と交流することができる。 ③韓国文化の観点から世界に深い関心を持ち続け、責任ある社会的行動をとることができる。  <日本語・日本語教育学科> 本学科は、「国語としての日本語」と「外国語としての日本語」という2つの観点から

日本語を学生に学ばせる。この学びを通して日本語の高度な公共的使用能力を涵養すること、そしてこれを基盤として、将来、社会において創造的で自立的な市民となって、社会の発展に貢献していくことのできる人材を育成することを目的とする。

この目的を達成するために開設される、全学の共通科目及び本学部と本学科の専門科目を履修し、卒業に必要な単位数を取得することによって、全学共通の学士力、及び本学科が指定する専門基礎力を、卒業認定に値する程度以上に獲得できたと認められる学生に対し、学士の学位を授与することとする。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページで公表

<https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/cp/>）

（概要）

本学は、各学部及び各学科が提供する専門教育を通して、卒業時まで、各学科が指定する専門基礎力を学生が確実に獲得できるようにするために、科目履修の順次性を尊重した体系的な教育課程を編成することとし、各学科でのカリキュラム・ポリシーを以下に定める。

<英米語学科>

①本学部の基幹科目に相応しい科目群を「外国語学部コア・カリキュラム」として設定し、初年次の段階から「言語とは何か」「文化とは何か」等の根本的な問いに関して強い課題意識を持たせるようにする。

②本学部の各学科に共通する内容の科目を「外国語学部共通科目」として設定し、言語文化分野や国際関係分野等の一般的ないし基本的な知識を獲得させるようにする。

③本学科の専門分野については、科目履修の順次性にも留意しつつ必要不可欠な講義・演習科目（「分野別専門科目」）を設定し、確かな専門性を獲得させるようにする。

④初年次・2年次の学生を対象に、基礎的な語学力を涵養することを目的とした「英語基礎力育成科目」を開設する。

⑤留学関連の科目については、留学前の「留学準備科目」、海外語学研修や異文化理解のための「留学科目」を開設する。

⑥留学後の語学力や向上心のおお一層の高度化を意図した「高度英語力育成科目」という科目群を設定する。これらの科目の履修を通して身につけた英語の高度な運用力を、その後の各専門分野の学修に活かせるようにする。

⑦4年間の学修の集大成として「卒業研究」という必修科目を設ける。

<中国語学科>

①本学部の基幹科目に相応しい科目群を「外国語学部コア・カリキュラム」として設定し、初年次の段階から「言語とは何か」「文化とは何か」等の根本的な問いに関して強い課題意識を持たせるようにする。

②本学部の各学科に共通する内容の科目を「外国語学部共通科目」として設定し、言語文化分野や国際関係分野等の一般的ないし基本的な知識を獲得させるようにする。

③初年次の学生を対象に、基礎的な語学力を涵養することを目的とした「中国語基礎力育成科目」を開設する。

④本学科の専門分野毎に、科目履修の順次性にも留意しつつ必要不可欠な講義・演習科目（「分野別専門科目」）を設定し、確かな専門性を獲得させるようにする。

⑤留学関連の科目については、留学前の「留学準備科目」、海外語学研修や異文化理解のための「留学科目」、そして留学後の語学力や向上心のおお一層の高度化を意図した「高度中国語力育成科目」、の3種類の科目群を設定し、これらの科目の履修を通して身につけた中国語の高度な運用力を、その後の各専門分野の学修に活かせるようにする。

⑥4年間の学修の集大成として「卒業研究」という必修科目を設ける。

<韓国語学科>

①外国語学部の基幹科目に相応しい科目群を「外国語学部コア・カリキュラム」として設定し、初年次の段階から「言語とは何か」「文化とは何か」等の根本的な問いに関して強

- い課題意識を持たせるようにする。
- ②外国語学部の各学科に共通する内容の科目を「外国語学部共通科目」として設定し、言語文化分野や国際関係分野等の一般的ないし基本的な知識を獲得させるようにする。
- ③実用的な韓国語能力を身につけ、韓国事情について基礎的な幅広い知識を習得しながら、国際的な視点に立って考えることができるようにする。
- ④幅広く活用できる韓国の言語を習得し、生活文化を理解し習得することを目的とする科目「韓国事情」と「臨地研修」を設ける。専門の知識や理解を深めるための「セミナー」及び「卒業研究」の区分を配する。
- ⑤1年次において十分な韓国語の基礎力を育成したうえで、2年次以降は、単位互換制度に基づく交換留学を実施し、帰国後、3・4年次において高度な韓国語能力の育成と韓国事情の知識と理解の増進を図る。そのために以下に沿ってカリキュラムを編成する。
- (1) 1年次の学生を対象に、基礎的な語学力を涵養することを目的とした「韓国語基礎力育成科目」として4科目（会話・文法・聴解・作文）を開設する。
- (2) 2・3年次の学生を対象に、単位互換制度に基づく交換留学を実施する。これに伴い、留学前の「留学準備科目」、海外語学研修や異文化理解のための「留学科目」、そして留学後の語学力や向上心のなお一層の高度化を意図した「高度韓国語力育成科目」、の3種類の科目群を設定し、これらの科目の履修を通して身につけた韓国語の高度な運用力を、その後の各専門分野の学修に活かすようにする。
- (3) 本学科専門分野の科目履修の順次性に留意しつつ必要不可欠な講義・演習科目（「分野別専門科目」）を設定し、確かな専門性を獲得させる。
- (4) 必修科目「卒業研究」によって、大学4年間の学修の集大成を図る。

<日本語・日本語教育学科>

- ①本学部の基幹科目に相応しい科目群を「外国語学部コア・カリキュラム」として設定し、初年次の段階から「言語とは何か」「文化とは何か」等の根本的な問いに関して強い課題意識を持たせるようにする。
- ②本学部の各学科に共通する内容の科目を「外国語学部共通科目」として設定し、言語文化分野や国際関係分野等の一般的ないし基本的な知識を獲得させるようにする。
- ③本学科の2専攻（日本語・日本文化、日本語教育）のそれぞれについて、科目履修の順次性にも留意しつつ必要不可欠な講義・演習科目（「分野別専門科目」）を設定し、確かな専門性を獲得させるようにする。
- ④「日本語教育実習」については、海外実習実施前の「実習準備科目」、国内・国外の諸機関における「日本語教育科目」、そして実習後の実践力と向上心のなお一層の高度化を意図した、国内諸機関における「高度実習科目」、の3種類の科目群を設定し、これらの科目の履修を通して身につけた高度な実践力をその後の日本語教育分野の学修に活かせるようにする。
- ⑤4年間の学修の集大成として「卒業研究」という必修科目を設ける。具体的には、(1)卒業論文、(2)卒業制作、(3)セミナー講座での研究報告書+学外の実習を伴う活動記録・報告書のいずれか一つを義務付ける。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページで公表  
<https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/ap/>）

（概要）

本学部の各学科に入学してくる学生が、全学の共通科目、及び本学部と各学科開設の専門科目群を履修することによって、卒業時までには学士力及び専門基礎力を獲得できるようにするために、以下のような資質・能力を有する人を受入れることとする。

<英米語学科>

- ①英語の学習、及びその運用能力の獲得・向上に強い意欲を持つ人
- ②日本語も含め、「ことば」に対する旺盛な好奇心と、言語文化への強い関心を有する人
- ③外国に留学して現地の人々と直に交流し、ことばだけではなく、彼らの日々の生活やものの考え方を体験的に学んでみようと考えている人

- ④世界で今何が起きているのか、何が問題となっているのかを知りたい、という強い希望を抱いている人
- ⑤自分の当面する課題に対して積極的に取り組んでいこうとする、前向きな姿勢を持つ人

<中国語学科>

- ①中国語の学習、及びその運用能力の獲得・向上に強い意欲を持つ人
- ②日本語も含め、「ことば」に対する旺盛な好奇心と、言語文化への強い関心を有する人
- ③外国に留学して現地の人々と直に交流し、ことばだけではなく、彼らの日々の生活やものの考え方を体験的に学んでみようと考えている人
- ④世界で今何が起きているのか、何が問題となっているのかを知りたい、という強い希望を抱いている人
- ⑤自分の当面する課題に対して積極的に取り組んでいこうとする、前向きな姿勢を持つ人

<韓国語学科>

- ①韓国語や韓国文化に対して興味を持ち、韓国語や韓国文化の専門的学習を通して、①韓国語の運用能力を獲得・向上すること、そして、②韓国文化の知識を獲得・理解すること、に主体的な強い意欲を持つ人
- ②①韓国語を中心に、日本語や他言語など「ことば」への旺盛な好奇心を持ち、また、②韓国語の背景にある韓国の言語文化への旺盛な好奇心を持ち、自分の当面する課題に対して積極的に取り組んでいこうとする、前向きな姿勢を持つ人
- ③世界で起こる問題とその解決に、国際的視点に立って前向きに取り組もうとする強い希望を抱き、韓国語圏に留学して人々と直に交流し、ことばだけではなく、日々の生活やものの考え方を体験的に学んで、日韓両国の言語文化を学び理解しようと考えている人

<日本語・日本語教育学科>

- ①日本語・日本文化、日本語教育、または異文化理解に強い関心を持つ人
- ②母語の日本語も含め、「ことば」に対する旺盛な好奇心と、言語文化への強い関心を有する人
- ③将来、国内・国外で日本語を教えてみようと考えている人
- ④世界で今何が起きているのか、何が問題となっているのかを知りたい、という強い希望を抱いている人
- ⑤自分の当面する課題に対して積極的に取り組んでいこうとする、前向きな姿勢を持つ人

学部等名 保健医療学部
教育研究上の目的（公表方法：ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/course/health/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/course/health/</a> )
(概要) 保健医療学部は、理学療法学、作業療法学、言語聴覚障害学に関する教育と研究を行い、国家資格を取得してリハビリテーション分野で活躍する人材を育てることを目的としている。基礎教育と専門分野の教育を丁寧に推進し、とくに臨床指導に重点をおくことにより、リハビリテーション分野の発展に寄与できる知識・技能・態度において優れた専門家の育成を目指す。
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/dp/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/dp/</a> )

（概要）

本学は、教育基本法等の教育法規、並びに建学の精神「主・師・親」に則り、国家・社会への献身的態度、真理探究の熱意、及び人間尊重の精神を、そして幅広い教養と確かな専門性を、学生に身につけさせることを通して、将来、社会の発展に貢献していくことのできる人材の育成を目的として、学生を「育てて送り出す」教育を実践する。

全学の共通科目及び各学部・学科の専門科目を履修し、卒業に必要な単位数を取得することによって、全学共通の「学士力」、及びそれぞれの専門分野に関わる「専門基礎力」を、卒業認定に値する程度以上に獲得できたと認められ、以下の所属学科のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に適合した学士課程の学生に、学士の学位を授ける。

<理学療法学科>

本学科は、目白大学の卒業認定・学位授与方針に基づき、健康という目標に向って組立てたリハビリテーション領域の科学及びその隣接諸分野の学修を通じて、幅広い教養と確かな専門性を学生に身につけさせる教育を実践し、将来、社会において創造的で自立的な市民となり、社会の変革と発展に貢献していくことのできる人材を育成することを目的とする。

この目的を達成するために、本学部及び本学科が開設する共通・専門科目を履修し、卒業に必要な単位数を取得することによって、本学科に固有の専門諸分野に関わる知識や技能を、卒業認定に値する程度以上に獲得できたと認められる学生に対して、学士の学位を授与し卒業を認定する。

<作業療法学科>

本学科は、人々の健康と幸福という目標に向って組立てた作業療法領域の科学及びその隣接諸分野の学修を通じて、幅広い教養と確かな専門性を学生に身につけさせる教育を実践し、将来、社会において創造的で自立的な作業療法士となり、社会の変革と発展に貢献していくことのできる人材を育成することを目的とする。

この目的を達成するために、本学部が開設する共通・専門科目及び本学科の専門科目を履修し、卒業に必要な単位数を取得することによって、本学科に固有の専門諸分野に関わる知識や技能を、卒業認定に値する程度以上に獲得できたと認められる学生に対して、学士の学位を授与し卒業を認定する。

<言語聴覚学科>

本学科は、目白大学の卒業認定・学位授与方針に基づき、健康という目標に向って組立てたリハビリテーション領域の科学及びその隣接諸分野の学修を通じて、幅広い教養と確かな専門性を学生に身につけさせる教育を実践し、将来、社会において創造的で自立的な市民となり、社会の変革と発展に貢献していくことのできる人材を育成することを目的とする。

この目的を達成するために、本学部及び本学科が開設する共通・専門科目を履修し、卒業に必要な単位数を取得することによって、本学科に固有の専門諸分野に関わる知識や技能を、卒業認定に値する程度以上に獲得できたと認められる学生に対して、学士の学位を授与し卒業を認定する。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページで公表

<https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/cp/>）

（概要）

本学は、各学部及び各学科が提供する専門教育を通して、卒業時まで、各学科が指定する専門基礎力を学生が確実に獲得できるようにするために、科目履修の順次性を尊重した体系的な教育課程を編成することとし、各学科でのカリキュラム・ポリシーを以下に定める。

<理学療法学科>

- ①本学科の教育目標の達成に必要な基礎医学、臨床医学に関する内容の科目を「専門基礎科目」として設置し、リハビリテーション専門職として共通する専門的知識を獲得させるようにする。
- ②本学科の教育目標の達成に必要な科目を「理学療法専門科目」として設置し、理学療法士としての専門性を獲得させるようにする。
- ③地域における医療・教育・福祉を重視し、その対象者の理解を深めるための科目を「専門教育科目」の中に設置する。
- ④医療・教育・福祉技術の進歩・発展に対応できる知識と技術および態度を養うための科目を「専門教育科目」の中に設置する。
- ⑤多職種連携を重視する観点から、チーム医療に関する科目を「理学療法専門科目」の中に設置する。
- ⑥科学的根拠に基づく理解や判断を重視する態度を育成するため、4年間の学習成果の集大成として「卒業研究」「総合理学療法セミナー」を「理学療法専門科目」として設置する。
- ⑦臨床教育を重視する観点から、学外施設における実習及びその準備のための科目を「理学療法専門科目」の中に設置する。

<作業療法学科>

- ①本学部に共通する教育目標の達成に必要な基礎医学、臨床医学に関する内容の科目を「専門基礎科目」として設置し、リハビリテーション専門職として共通する専門的知識を獲得させる。
- ②作業療法の治療・指導・援助項目として、「基本的能力」「応用的能力」「社会的能力」「環境資源」「作業に関する個人特性」の理解を深めるための科目を「専門科目」の中に設置する。
- ③すべての対象者の地域社会への参加を促進するため、評価・治療の理解に必要な科目を「専門科目」として設置し、作業療法士としての専門性を獲得させる。
- ④対象者の日常生活活動、手段的日常生活活動、仕事や趣味、余暇活動など、生活行為の向上として支援するための科目を「専門科目」の中に設置する。
- ⑤多職種連携を重視する観点から、「チーム医療」を「専門科目」として設置する。
- ⑥科学的根拠に基づく理解や判断を重視する態度を育成するため「卒業研究」を「専門科目」として設置する。
- ⑦4年間の学習成果の集大成として「総合作業療法セミナー」を「専門科目」として設置する。
- ⑧臨床教育を重視する観点から、学外施設における実習及びその準備のための科目を「専門科目」の中に設置する。

<言語聴覚学科>

- ①初年次の学生を対象に、「言語聴覚療法基礎演習」を「専門科目」として設定し、言語聴覚士像を明確にするとともに主体的な学びを確立させるようにする。
- ②言語聴覚療法に必要な基礎医学・臨床医学である「神経内科学」や「精神医学」等を「専門基礎科目」として設定し、言語聴覚士に必要な基本的知識を獲得させるようにする。
- ③言語聴覚療法の学修に必要な医学・言語・心理・教育・福祉に関する「音声・言語・聴覚医学」や「言語学」「認知・学習心理学」「社会福祉・教育」等を「専門科目」として設定し、言語聴覚療法に必要な専門的知識を獲得させるようにする。
- ④言語聴覚療法の各専門領域において設定された教育目標の達成に必要な「失語症学」や「聴覚リハビリテーション学」等を「専門科目」として設定し、言語聴覚士としての専門性を獲得させるようにする。
- ⑤地域における医療・教育・福祉を重視し、その対象者の理解を深めるための「地域言語聴覚療法」を「専門基礎科目」として設定する。
- ⑥多職種連携を重視する観点から、「チーム医療」を「専門科目」として設定する。
- ⑦科学的根拠に基づく理解や判断を重視する態度を育成するため、「論文購読法」や「卒

目白大学（2020年度申請）

<p>業研究」を「専門科目」として設定する。</p> <p>⑧臨床教育を重視する観点から、学外施設における実習及びその準備のための科目を「専門科目」として設定する。</p> <p>⑨資格取得を考慮し、4年間の学習成果の集大成として「総合言語聴覚療法学セミナー」を「専門科目」として設定する。</p>
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/ap/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/ap/</a>）</p>
<p>（概要）</p> <p>本学部の各学科に入学してくる学生が、本学部の人材育成目的の達成に向けて開設される専門教育科目群を履修することによって、卒業時までには本学部の専門分野に関わる知識や技能を獲得できるようにするために、以下のような資質・能力を有する人を受入れることとする。</p> <p>&lt;理学療法学科&gt;</p> <p>①本学科での学修に必要な確かな基礎学力を有し、なおかつ学びに対して、主体的に取り組み、生涯にわたって継続的に自己研鑽する姿勢を保持している人</p> <p>②医療倫理の4原則（自立尊重、無危害、善行、正義）を理解し、対象となる者を全人的にとらえ、向き合おうと思う人</p> <p>③多様な背景をもつ他の専門職と協働しながら直面する諸課題に主体的に取り組む、多職種連携協働の理念を理解し、実践しようとする姿勢を持つ人</p> <p>④身体運動に興味・関心を持って、それを意欲的に学ぼうとする態度を持つ人</p> <p>&lt;作業療法学科&gt;</p> <p>①本学科での学修に必要な確かな基礎学力を有し、なおかつ学びに対して、主体的に取り組み、生涯にわたって継続的に自己研鑽する姿勢を保持している人</p> <p>②作業療法士として人々の健康と幸福を守るために知識と良心を捧げ、対象となるものと真摯に向き合おうとする人</p> <p>③多様な背景をもつ他の医療専門職と協働しながら直面する諸課題に主体的に取り組み、後輩の育成と教育水準の高揚に努める人</p> <p>④人々の生活・活動に興味関心を持ち、それを意欲的に学ぼうとする人</p> <p>&lt;言語聴覚学科&gt;</p> <p>①本学科での学修に必要な確かな基礎学力を有し、なおかつ学びに対して、主体的に取り組み、生涯にわたって継続的に自己研鑽する姿勢を保持している人</p> <p>②医療倫理の4原則（自立尊重、無危害、善行、正義）を理解し、対象となる者を全人的にとらえ、向き合おうと思う人</p> <p>③多様な背景をもつ他の専門職と協働して諸課題に主体的に取り組む、多職種連携協働の理念を理解し、実践しようとする姿勢を持つ人</p> <p>④コミュニケーション、言語に興味・関心を持って、それを意欲的に学ぼうとする態度を持つ人</p>

<p>学部等名 看護学部</p>
<p>教育研究上の目的（公表方法：ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/course/nursing/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/course/nursing/</a>）</p>



<p>(概要)</p> <p>本学看護学部では、看護に必要な専門的知識・技術と態度を身につけ、実践力のある看護師、保健師の養成を目指し、変革する社会に対応しうる人間性豊かな感性を兼ねそなえた人材を育成する。</p>
<p>卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/dp/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/dp/</a>）</p>
<p>(概要)</p> <p>本学は、教育基本法等の教育法規、並びに建学の精神「主・師・親」に則り、国家・社会への献身的態度、真理探究の熱意、及び人間尊重の精神を、そして幅広い教養と確かな専門性を、学生に身につけさせることを通して、将来、社会の発展に貢献していくことのできる人材の育成を目的として、学生を「育てて送り出す」教育を実践する。</p> <p>全学の共通科目及び各学部・学科の専門科目を履修し、卒業に必要な単位数を取得することによって、全学共通の「学士力」、及びそれぞれの専門分野に関わる「専門基礎力」を、卒業認定に値する程度以上に獲得できたと認められ、以下の所属学科のディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）に適合した学士課程の学生に、学士の学位を授ける。</p> <p>&lt;看護学科&gt;</p> <p>①多様な健康上のニーズや生活背景、価値観をもつ人々を全人的存在として理解し、適切な援助関係を築くことができる。</p> <p>②看護の専門的知識、確かな技術、適切な態度を統合でき、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。</p> <p>③保健医療福祉チームにおける看護職の役割や責任を認識し、健康支援に関わる全ての人々と連携協働できる。</p> <p>④専門職としての高い倫理観をもち、人間の尊厳と権利を擁護する行動がとれる。</p> <p>⑤看護への探求心とキャリア展望を持ち、社会のニーズに応じた専門性を発展させることで人々の健康に寄与できる。</p>
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/cp/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/cp/</a>）</p>
<p>(概要)</p> <p>本学は、各学部及び各学科が提供する専門教育を通して、卒業時までには、各学科が指定する専門基礎力を学生が確実に獲得できるようにするために、科目履修の順次性を尊重した体系的な教育課程を編成することとし、各学科でのカリキュラム・ポリシーを以下に定める。</p> <p>&lt;看護学科&gt;</p> <p>①生活者としての人間の健康を回復・保持増進できる確かな看護の専門性を修得できるように、以下の専門科目で構成する。</p> <p>(1) 看護の対象である人間を理解するために、「人間理解領域」科目群を配置する。</p> <p>(2) 社会制度を理解し生活者の健康を総合的に理解するために、「社会関連領域」科目群を配置する。</p> <p>(3) 看護の実践に必要な基礎的な知識・技術・態度を修得するために、「看護の基礎領域」科目群を配置する。</p> <p>(4) 看護の対象を人間発達の視点と生活の場の視点から全体的に理解するための知識・技術・態度を修得するために、「看護実践領域」科目群を配置する。</p> <p>(5) 看護を将来的に発展させるための知識・態度を修得するために、「看護の統合領域」科目群を配置する。この「看護の統合領域」に4年間の学修の集大成として、「統合看護実習」「卒業研究」の科目を必修科目として配置する。</p> <p>②看護師・保健師国家試験受験資格、ならびに養護教諭二種免許の取得申請に必要な科目を配置する。</p>

入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/ap/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/about/ap/</a> ）
（概要） 本学部・学科に入学してくる学生が、本学部・学科の人材養成目的の達成に向けて開設される専門教育科目群を履修することによって、卒業時までには本学部・学科の専門分野に関わる知識や技能（専門基礎力）を獲得できるようにするために、以下のような資質・能力を有する人を受け入れることとする。  <看護学科> ①本学部・学科の学修に必要となる基礎学力と、人間の健康と生活への関心を持ち、看護について真摯に学ぶ意欲のある人 ②看護学の専門的知識と技能を修得し、将来、保健医療福祉の分野で関係者と協働し、貢献することに強い意志と展望をもつ人 ③人々の多様な価値観を受け入れ、柔軟に思考できる人

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/about/organization/#tab_content_012">https://www.mejiro.ac.jp/gakuen/about/organization/#tab_content_012</a>
---

目白大学（2020年度申請）

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	3人	—					3人
心理学部	—	6人	4人	5人	6人	2人	23人
人間学部	—	16人	12人	16人	8人	4人	56人
社会学部	—	12人	5人	11人	0人	5人	33人
メディア学部	—	6人	7人	3人	2人	1人	19人
経営学部	—	10人	2人	3人	0人	0人	15人
外国語学部	—	15人	8人	20人	0人	3人	46人
保健医療学部	—	19人	12人	10人	9人	2人	52人
看護学部	—	8人	7人	10人	11人	0人	36人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長			学長・副学長以外の教員				計
0人			302人				302人
各教員の有する学位及び業績 （教員データベース等）		公表方法：ホームページで公表 <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/course/professor_list/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/course/professor_list/</a>					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							
<p>本学では、授業内容・方法を改善と向上を目的とした全教員対象の全学FD研修と各学部・学科でのFD研修を行なっている。全学でのFD研修は毎年定期的に年2回実施しており、2019年度は9月と11月に実施した。9月はコンプライアンス教育、研究倫理教育についての講演会と教員による研究成果発表を行い、11月は多様な学生（主に障がいを持った学生）への対応について、外部講師を招へいし、講演会、事例発表、シンポジウムを行った。なお、11月に関しては、教員のみではなく、職員も対象とした。</p> <p>また、学内にFD実施委員会（委員長は副学長）を設置し、各学部及び学科毎にもFDを実施しており、教育活動の充実、キャリア教育、進路指導など、幅広いテーマでFDを行なっている。</p>							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
心理学部	125人	134人	107.2%	125人	134人	107.2%	0人	0人
人間学部	290人	297人	102.4%	1570人	1511人	96.2%	20人	2人
社会学部	200人	203人	101.5%	940人	957人	101.8%	10人	4人
メディア学部	140人	152人	108.6%	420人	425人	101.1%	0人	0人
経営学部	130人	129人	99.2%	530人	480人	90.6%	5人	1人
外国語学部	220人	244人	110.9%	890人	922人	103.6%	5人	4人
保健医療学部	185人	170人	91.9%	740人	687人	92.8%	0人	0人
看護学部	105人	104人	99.0%	420人	434人	103.3%	0人	0人
合計	1395人	1433人	102.7%	5635人	5550人	98.5%	40人	11人
(備考)								

目白大学（2020年度申請）

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
人間学部	374人 (100%)	11人 (2.9%)	296人 (79.1%)	67人 (17.9%)
社会学部	295人 (100%)	0人 (0%)	247人 (83.7%)	48人 (16.3%)
経営学部	117人 (100%)	0人 (0%)	100人 (85.5%)	17人 (14.5%)
外国語学部	210人 (100%)	1人 (0.5%)	160人 (76.2%)	49人 (23.3%)
保健医療学部	173人 (100%)	0人 (0%)	163人 (94.2%)	10人 (5.8%)
看護学部	112人 (100%)	1人 (0.9%)	106人 (94.6%)	5人 (3.6%)
合計	1281人 (100%)	13人 (1.0%)	1072人 (83.7%)	196人 (15.3%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考) 心理学部は2020年度開設、メディア学部は2018年度に開設のため、該当者なし。				

目白大学（2020年度申請）

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤ 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p><b>【様式第2号の3より再掲】</b>          (授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業計画（シラバス）作成過程</li> </ul> <p>⇒ 教務委員会で周知（12月） ⇒ 各教員に作成依頼（1月本学教務ポータルサイトより入力）          ⇒ 入力締切後、各学科長がシラバス内容を確認          ⇒ 修正指示&amp;修正（～3月末） ⇒ 本学教務ポータルサイト掲載 ⇒ 新年度4月本学ホームページにて公開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ シラバス入力項目</li> </ul> <p>担当者名、授業のねらい、学生の学習目標、授業内容（スケジュール）          授業の事前準備と事後学習、評価の方法と観点、試験・レポートの返却方法、学習成果、必須資料（教科書等）、参考資料。アクティブラーニングの導入、実務教員科目該当（該当⇒実務経験と授業内容の関係）、ICTの導入、オフィスアワー</p>
--

⑥ 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

<p>(概要)</p> <p><b>【様式第2号の3より再掲】</b>          成績評価は、シラバスに示された評価方法に従いS・A・B・C・D・Nの6段階で評価する。S～C・Dが合格（単位認定）、Dが不合格（単位不認定）となる。評価基準は以下の通り。</p> <p>S＝特に秀でた成績（総履修者数の概ね10%を限度とする）          A＝100点から80点まで          B＝79点から70点まで          C＝69点から60点まで          D＝59点以下          N＝他大学で修得し本学が認定した科目、検定試験に合格し認定された科目等</p>				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
心理学部	心理カウンセリング学科	124 単位	有・無	単位
人間学部	人間福祉学科	124 単位	有・無	単位
	子ども学科	124 単位	有・無	単位
	児童教育学科	124 単位	有・無	単位
社会学部	社会情報学科	124 単位	有・無	単位

目白大学（2020年度申請）

	地域社会学科	124 単位	有・無	単位
メディア学部	メディア学科	124 単位	有・無	単位
経営学部	経営学科	124 単位	有・無	単位
外国語学部	英米語学科	124 単位	有・無	単位
	中国語学科	124 単位	有・無	単位
	韓国語学科	124 単位	有・無	単位
	日本語・日本語教育学科	124 単位	有・無	単位
保健医療学部	理学療法学科	128 単位	有・無	単位
	作業療法学科	128 単位	有・無	単位
	言語聴覚学科	128 単位	有・無	単位
看護学部	看護学科	128 単位	有・無	単位
G P A の活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 （任意記載事項）		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

<p>公表方法：ホームページで公表          新宿キャンパス  <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/campuslife/shinjuku/life/campus_map/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/campuslife/shinjuku/life/campus_map/</a>          さいたま岩槻キャンパス  <a href="https://www.mejiro.ac.jp/univ/campuslife/iwatsuki/life/campus_map/">https://www.mejiro.ac.jp/univ/campuslife/iwatsuki/life/campus_map/</a></p>
---

目白大学（2020年度申請）

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
心理学部	心理カウンセリング学科（1年次生）	816,000円	250,000円	280,000円	施設設備費 2020年度開設のため、2～4年次生は在籍しない
人間学部	心理カウンセリング学科（2年次生）	796,000円	-	280,000円	施設設備費 2020年度募集停止のため 1年次生は在籍しない
	心理カウンセリング学科（3・4年次生）	715,000円	-	336,000円	施設設備費、実験実習費、教育維持費
	人間福祉学科（1年次生）	816,000円	250,000円	280,000円	施設設備費
	人間福祉学科（2年次生）	796,000円	-	280,000円	施設設備費
	人間福祉学科（3・4年次生）	715,000円	-	336,000円	施設設備費、実験実習費、教育維持費
	子ども学科（1年次生）	828,000円	250,000円	280,000円	施設設備費
	子ども学科（2年次生）	810,000円	-	280,000円	施設設備費
	子ども学科（3・4年次生）	715,000円	-	350,000円	施設設備費、実験実習費、教育維持費
	児童教育学科（1年次生）	828,000円	250,000円	280,000円	施設設備費
	児童教育学科（2年次生）	796,000円	-	280,000円	施設設備費
	児童教育学科（3・4年次生）	715,000円	-	336,000円	施設設備費、実験実習費、教育維持費
社会学部	社会情報学科（1年次生）	805,800円	250,000円	280,000円	施設設備費
	社会情報学科（2年次生）	806,000円	-	280,000円	施設設備費
	社会情報学科（3・4年次生）	725,000円	-	336,000円	施設設備費、実験実習費、教育維持費
	メディア表現学科（4年次生）	765,000円	-	336,000円	施設設備費、実験実習費、教育維持費 2018年度募集停止のため 1・2・3年次生は在籍しない
	地域社会学科（1年次生）	795,600円	250,000円	280,000円	施設設備費
	地域社会学科（2年次生）	796,000円	-	280,000円	施設設備費
	地域社会学科（3・4年次生）	715,000円	-	336,000円	施設設備費、実験実習費、教育維持費
メディア学部	メディア学科（1年次生）	864,000円	250,000円	280,000円	施設設備費
	メディア学科（2年次生）	846,000円	-	280,000円	施設設備費
	メディア学科（3年次生）	765,000円	-	336,000円	施設設備費、実験実習費、教育維持費 2018年度開設のため、4年次生は在籍しない
経営学部	経営学科（1年次生）	798,000円	250,000円	280,000円	施設設備費
	経営学科（2年次生）	793,000円	-	280,000円	施設設備費
	経営学科（3・4年次生）	715,000円	-	330,000円	施設設備費、実験実習費、教育維持費
外国語学部	英米語学科（1年次生）	828,000円	250,000円	280,000円	施設設備費
	英米語学科（2年次生）	790,000円	-	280,000円	施設設備費
	英米語学科（3・4年次生）	715,000円	-	330,000円	施設設備費、実験実習費、教育維持費
	中国語学科（1年次生）	828,000円	250,000円	280,000円	施設設備費
	中国語学科（2年次生）	790,000円	-	280,000円	施設設備費
	中国語学科（3・4年次生）	715,000円	-	330,000円	施設設備費、実験実習費、教育維持費
	韓国語学科（1年次生）	828,000円	250,000円	280,000円	施設設備費

目白大学（2020年度申請）

	韓国語学科（2年次生）	790,000円	-	280,000円	施設設備費
	韓国語学科（3・4年次生）	715,000円	-	330,000円	施設設備費, 実験実習費, 教育維持費
	日本語・日本語教育学科（1年次生）	828,000円	250,000円	280,000円	施設設備費
	日本語・日本語教育学科（2年次生）	790,000円	-	280,000円	施設設備費
	日本語・日本語教育学科（3・4年次生）	715,000円	-	330,000円	施設設備費, 実験実習費, 教育維持費
保健医療学部	理学療法学科（1年次生）	1,020,000円	250,000円	510,000円	施設設備費, 実験実習費
	理学療法学科（2年次生）	965,000円	-	510,000円	施設設備費, 実験実習費
	理学療法学科（3・4年次生）	900,000円	-	600,000円	施設設備費, 実験実習費, 教育維持費
	作業療法学科（1年次生）	1,020,000円	250,000円	510,000円	施設設備費, 実験実習費
	作業療法学科（2年次生）	965,000円	-	510,000円	施設設備費, 実験実習費
	作業療法学科（3・4年次生）	900,000円	-	600,000円	施設設備費, 実験実習費, 教育維持費
	言語聴覚学科（1年次生）	1,020,000円	250,000円	510,000円	施設設備費, 実験実習費
	言語聴覚学科（2年次生）	965,000円	-	510,000円	施設設備費, 実験実習費
	言語聴覚学科（3・4年次生）	900,000円	-	600,000円	施設設備費, 実験実習費, 教育維持費
看護学部	看護学科（1年次生）	1,248,000円	250,000円	420,000円	施設設備費, 実験実習費
	看護学科（2年次生）	1,195,000円	-	420,000円	施設設備費, 実験実習費
	看護学科（3・4年次生）	1,130,000円	-	500,000円	施設設備費, 実験実習費, 教育維持費

⑨ 大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

（概要）  
 学費については、大学（学校法人）、保護者の教育後援団体及び同窓会組織等の寄付により設立された奨学金管理団体から、成績優秀者又は経済的支援を必要としている学生に奨学金を給付又は貸与している。また本学では資格取得を奨励しており、大学が指定する資格を取得した学生には奨励金を支給している。  
 施設面については、学内にラーニングコモンズ、ネットカフェ等を整備し、学生の自発的な学習を側面的に支援している。  
 障がい学生のある学生に対しては、「障がい学生等支援室」により、障がいに応じた学修サポートを行っている。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

（概要）  
 多様な進路に対応するためにキャリア関連の授業だけでなく、就職活動で必要とされる各種支援講座を1年次から開始している。また、ゼミ担当教員とキャリアセンター職員、キャリアカウンセラーと常に情報交換を行い、学生の進路の把握や個々の学生の状況に合わせた相談に対応している。  
 また学内での企業説明会は、一般企業のみならず、病院、福祉施設、自治体にもご参加いただいている。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

（概要）  
 保健室を設置し、体調不良及び怪我等の応急対応のほか、学生の健康及び身体面での悩み等の相談に随時応じている。  
 さらに、学生相談室に専門家（精神科医、臨床心理士）を配置し、学生のメンタル面でのサポートを中心に、学生が抱える悩みや問題の解決に向けた支援を行なっている。また、学生自身が自身の状況を把握と対処ができるように、学生のコミュニケーションスキル向上に向けたワークショップを実施している。



⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：刊行物とホームページで公表

研究活動の紹介：<https://www.mejiro.ac.jp/univ/research/center/activities/>

研究紀要の刊行（目白大学リポジトリ）<https://mejiro.repo.nii.ac.jp/>